

山陽刷子株式会社

環境と地域農業に貢献する、高品質なハブラシの製造を推進

ポイント

- ・お米由来のバイオマス原料ライスレジンを使用したハブラシのCFPを算定
- ・地域農業と連携したモデル事業を構築し、地域活性化と環境貢献の両面に貢献
- ・補助金も活用することで負担を軽減しつつ効果的に削減施策を推進

※ CFP : Carbon Footprint of Productsの略。

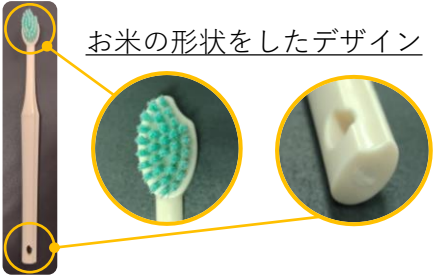
会社概要



- | | |
|-------|------------------------------|
| 設立 | : 昭和45年7月 |
| 本社所在地 | : 愛媛県伊予市三秋169 |
| 従業員数 | : 約60人 |
| 事業内容 | : 各種ハブラシ、ヘアブラシ、
コームの製造・販売 |

製品紹介

- | | |
|-------|---|
| 製品名称 | : ライスレジンはブラシ |
| 用途 | : 市販向け |
| 特徴・強み | : バイオマス原料ライスレジンを使用
デザインにもこだわり、
デザイン性とプラスチック原料の
消費抑制を両立 |



● 環境PRポイント

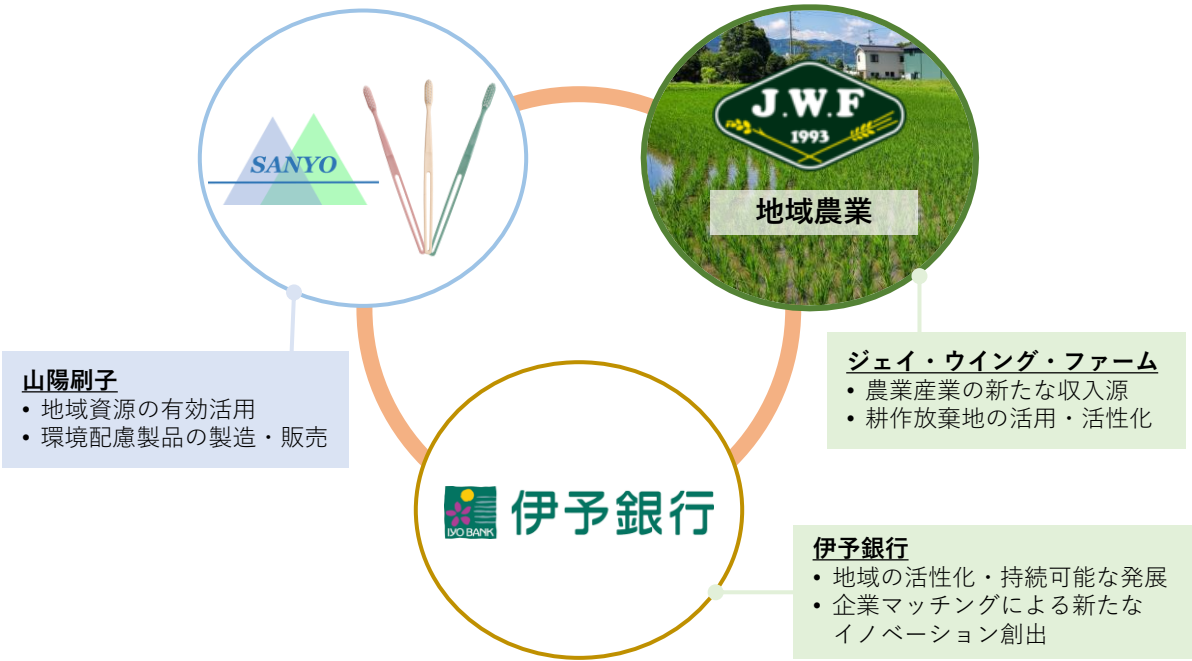
バイオマス原料ライスレジンを使用したハブラシを開発

CO2排出量の削減に貢献するため、お米を原料とした「ライスレジン」という合成樹脂を使用した市販向けハブラシを開発しました。
プラスチック使用量を51%減らし、原材料起因のCO2排出量の削減に繋がります。
また、生分解性バイオポリマーを使用したハブラシの製造も行っており、全国のホテル向けに出荷するなど、環境価値の高い製品の普及に力を入れています。



地産地消を実現し、環境と地域に貢献

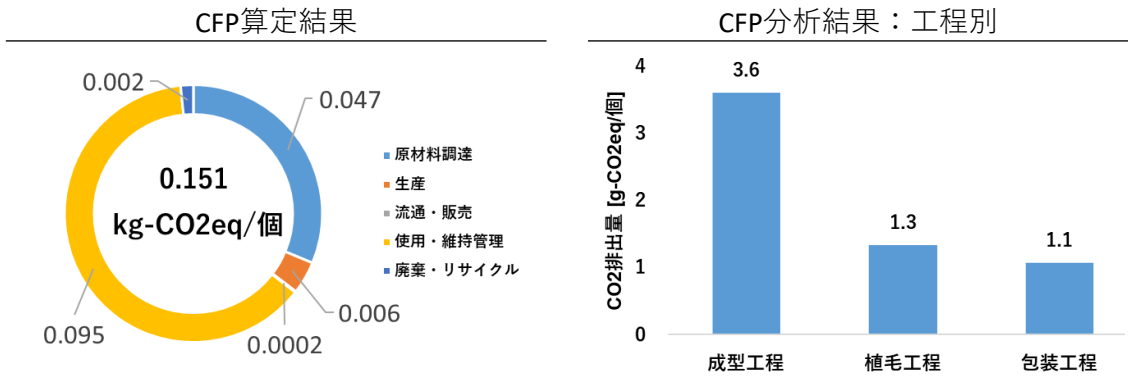
愛媛県産のお米から作られるバイオマス原料を採用することで、地域農業の活性化や耕作放棄地の削減に繋がる共創モデルの確立を目指しています。
製造したハブラシは愛媛県内で販売し、原料生産（稲作）～消費まで愛媛県内で循環する地産地消を実現することで、環境と地域に貢献しています。



● 製品カーボンフットプリント算定

CFPを算定し、製造におけるCO2排出のボトルネックを特定

市販向けライスレジンハブラシ試作品のCFPを原材料調達～廃棄・リサイクルの範囲で算定し、「0.151 kg-CO2eq/個」と算定されました。
製造工程別の排出量を詳細分析し、成型工程における排出量が多いことを特定。削減検討に活用しています。



※ CFP：商品やサービスのライフサイクルを通して排出される温室効果ガスの排出量をCO2に換算したもの。
Carbon Footprint of Productsの略。
※算定結果は外部支援に基づき独自に実施したもので、第三者認証に基づく情報ではありません。
※ 本算定は試作品を対象としており、一部の数値には仮定を置いた状態で算定を実施しています。
正式な製品版では再算定を行う可能性があります。

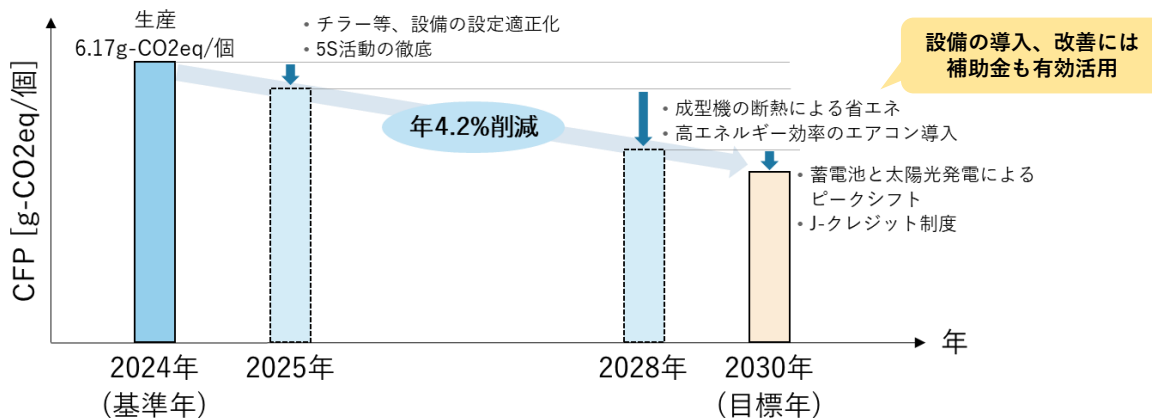
● CO2排出量削減目標と削減施策の推進ロードマップ

CFPの削減目標を設定し、補助金も活用することで削減施策を推進

改善余地がある生産工程の排出量に対して、中小企業向けSBTの水準を参考にして、年4.2%削減する目標を設定しました。

設備の改修が必要な施策には、愛媛県含めた補助金活用を検討しています。

【削減目標】 2024年度算定のCFP(生産6.17g-CO₂eq/個)に対して、年4.2%削減(2030年まで)



※ SBT：気候変動対策として、科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出削減目標のこと。
Science Based Targetsの略。中小企業向けには着手しやすい中小企業向けの基準がある。

削減事例：補助金を活用した省エネ設備の導入

電力消費量が多いハブラシの持ち手を加工する成形機の省エネ化を進める際に、愛媛県の補助金を活用しました。

従来の油圧式成形機は、1日約210 kWhの電力を消費していましたが、補助金を活用し電動式へ更新したことで、約129 kWhに削減され、約40%のCO₂排出量削減が見込まれています。

油圧式成形機



電動式成形機



社員の声



本事業を通じて、新製品の環境への貢献効果を可視化することができました。
また、今後の削減目標も設定することもできました。
導入費用や費用対効果を踏まえ、補助金等の支援制度の活用も視野に入れつつ、優先順位をつけて投資を行っていきたいと考えています。